

千葉県保健医療計画改定に関する調査 【D】在宅療養支援歯科診療所票（在宅医療）

【提出期限と提出方法】

調査回答期限は**令和5年9月8日（金）**です。期日までに、同封の実施要領に記載した調査専用ホームページから、調査票の電子ファイル（EXCEL）のダウンロードにて取得してご回答いただいた後、回答済みのファイルをアップロード提出して頂きますようお願い致します。

※ アップロード提出がうまくいかない場合

→調査事務局のメールアドレス宛に回答済みの調査票（EXCEL）をお送りください。

※ セキュリティの関係で上記URLにアクセスできない場合

→紙の調査票に記入の上、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

【調査票ご記入時の注意点】

- ・特に断りのない限り、令和5年8月1日時点の状況をご記入ください。
- ・当該時点の状況を把握されていない場合は、直近の状況をご回答ください。
- ・Excelファイルの表示上、自由回答欄の記載内容が見えなくなっても問題ございません。

（ご担当者様の氏名・連絡先）

施設名称			
氏名		部署名	
電話番号		e-mail	

I. 貴院の概況について

- Q1** 貴院の在宅医療の実施状況について、実施している、もしくは、可能である選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）
 ※本質問にて○をつけいただいた項目につきましては、千葉県ホームページで医療機関名と共に公表を予定しています。

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 歯科疾患在宅療養管理料の加算	
02 在宅患者連携指導料の加算	
03 在宅患者緊急時等カンファレンス料の加算	

- Q2** 貴院が訪問歯科診療を開始する経路として、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）	回答欄
01 退院時に医療機関からの依頼	
02 訪問診療等を実施する医師からの依頼	
03 他の歯科診療所からの紹介	
04 訪問看護ステーションからの依頼	
05 薬局薬剤師からの依頼	
06 ケアマネジャーからの依頼	
07 行政からの依頼	
08 かかりつけの患者・家族からの依頼	
09 かかりつけ以外の患者・家族からの依頼	
10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

- Q3** 貴院が対応可能なケア領域やケア内容について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 歯科衛生士による口腔ケア	
02 摂食・嚥下指導	
03 小児歯科	
04 障害者（児）歯科	
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

- Q4** 所属している常勤の歯科医師の、歯科医師会への所属状況について、該当する番号に○をつけ、加入状況についてご回答ください。

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄	加入者	自院の常勤医師数
01 地区歯科医師会		人	人
02 千葉県歯科医師会		人	人
03 日本歯科医師会		人	人
04 歯科医師会に所属している歯科医師が自院にいない			

II. 従事者及び管理者の状況について

Q5 患者・居住者の居宅を訪問して行う業務に従事している職員の体制について、医師1人当たり回答欄1行を用いてご回答ください。

番号	職種 (1つを選択)		勤務形態 (1つを選択)		訪問頻度	訪問診療1回当たりの 平均所要時間
	1 歯科 医師	2 歯科 衛生士	A 常 勤 職 員	B 非 常 勤 職 員		
				(Bの場合) 常勤換算人数 ※注参照		
1					人週	日程度 1回約
2					人週	日程度 1回約
3					人週	日程度 1回約
4					人週	日程度 1回約
5					人週	日程度 1回約
6					人週	日程度 1回約
7					人週	日程度 1回約
8					人週	日程度 1回約
9					人週	日程度 1回約
10					人週	日程度 1回約
11					人週	日程度 1回約
12					人週	日程度 1回約
13					人週	日程度 1回約
14					人週	日程度 1回約
15					人週	日程度 1回約
16					人週	日程度 1回約
17					人週	日程度 1回約
18					人週	日程度 1回約
19					人週	日程度 1回約
20					人週	日程度 1回約
21					人週	日程度 1回約
22					人週	日程度 1回約
23					人週	日程度 1回約
24					人週	日程度 1回約
25					人週	日程度 1回約

注1： 非常勤職員数を常勤換算数でご回答いただく設問は、貴院の1週間の通常勤務時間を基本として、下記の方法で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した数字をご記入ください。例えば、1週間の通常勤務時間が40時間の医療機関で、週3日、各自5時間勤務の非常勤職員の場合、 $5時間 \times 3日 \div 40時間 = 0.375 \Rightarrow 0.4人$

注2： 列が足りない（26名以上の歯科医師・歯科衛生士がいる）場合は、恐れ入りますが、別の白紙に26以降の番号と各項目の該当する回答をご記入の上、同封してご返送ください。例えば、

26番目の歯科医師が非常勤職員（週3日、5時間勤務）、訪問頻度週2日、1回約30分程度の場合
：26. 1 B (0.4人) 2 30

27番目の歯科衛生士が常勤職員、訪問頻度週3日、1回約30分程度の場合：27. 2 A 3 30

Q6 Q5でご回答いただいた職員の充足感について、職種ごとに該当する選択肢の番号1つを選択してください。			
職種	選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
歯科医師	01 不足している	02 充足している	
歯科衛生士	01 不足している	02 充足している	
その他（事務職員等）	01 不足している	02 充足している	
Q7 介護保険における居宅療養管理指導（介護予防給付含む）について、令和4年度の職種別提供状況をご回答ください。			
職種	選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
歯科医師	01 提供している	02 提供していない	
歯科衛生士	01 提供している	02 提供していない	
Q8 令和4年度に歯科衛生士を新規募集していましたか。該当する選択肢の番号1つを選択してください。また、していた場合には人数についてもご記入ください。			
選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄	
01 していた【⇒Q9へ】	募集	人	採用
02 していない【⇒Q11へ】			
Q9 《Q8で「01 していた」を選択された歯科診療所にお伺いします。》 歯科衛生士の新規募集の理由について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。			
選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄	
01 退職者の補充のため	02 現職員の負担軽減のため		
03 外来業務の規模拡大のため	04 在宅医療の規模拡大のため		
05 その他 具体的に（ ）			
Q10 《Q8で「01 していた」を選択された歯科診療所にお伺いします。》 採用に至った募集方法について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）			
選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄	
01 ハローワーク			
02 インターネット			
03 募集チラシ等			
04 斡旋業者等			
05 その他 具体的に（ ）			
Q11 令和4年度に、法人内移動を除いて、退職した歯科衛生士はいますか。該当する選択肢の番号1つを選択してください。また、いる場合は人数についてもご記入ください。			
選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄	
01 いる【⇒Q12へ】	（ ）人	02 しない【⇒Q13へ】	
Q12 《Q11で「01 いる」を選択された歯科診療所にお伺いします。》 歯科衛生士の退職理由について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。			
選択肢（該当するもの3つまでに○）		回答欄	
01 ライフイベントの変化のため （結婚・離婚、出産、引越し、介護、家族の転勤、進学等の進路変更等）			
02 業務に適應できなかったため			
03 他の医療機関への転職			
04 事業所の経営悪化			
05 その他 具体的に（ ）			

Ⅲ. 在宅医療の実施状況について

Ⅲ. 1 訪問状況

Q13 現体制で1か月当たりの在宅医療提供可能な最大の訪問人数と延べ回数をご回答ください。

サービス	1か月当たり 最大の訪問人数	1か月当たり 最大の延べ訪問回数
訪問歯科診療	人程度	回程度

Ⅲ. 2 提供先の状況

Q14 貴院が訪問可能なエリアにおける最大の移動時間について該当する選択肢の番号1つを選択してください。

	選択肢（該当するもの1つを選択）			回答欄
平均移動時間	01 15分未満 04 45分以上60分未満	02 15分以上30分未満 05 60分以上	03 30分以上45分未満	
最大移動時間	01 15分未満 04 45分以上60分未満	02 15分以上30分未満 05 60分以上	03 30分以上45分未満	

Q15 貴院への在宅歯科診療依頼に対する対応状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 依頼件数に対して8割以上対応できている 02 依頼件数に対して5割程度対応できている 03 依頼件数に対して3割未満しか対応できていない	

Q16 令和4年度に訪問診療を行った（対応した）患者の居住形態の種類について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 自宅（戸建て）	
02 自宅（マンション等）	
03 サービス付き高齢者向け住宅	
04 有料老人ホーム	
05 認知症対応型共同生活介護	
06 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	
07 障害者グループホーム	
08 その他 具体的に（ ）	

Ⅲ. 3 在宅医療の充足状況について

Q17 貴院が診療している地域における在宅医療の充足状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 充足していると思う【⇒Q19へ】 02 充足していると思わない【⇒Q18へ】	
03 わからない【⇒Q19へ】	

Q18 《Q17で「02 充足していると思わない」を選択された診療所にお伺いします。》

充足していないと思われる部分について、該当する選択肢の番号に○をつけてください（複数回答

	選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
在宅医療を担う人材	01 医師	
	02 歯科医師	
	03 看護師	
	04 薬剤師	
	05 理学療法士	
	06 作業療法士	
	07 言語聴覚士	
	08 管理栄養士	
	09 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療を担う施設	01 病院	
	02 診療所	
	03 歯科診療所	
	04 薬局	
	05 訪問看護ステーション	
	06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療の内容	01 訪問診療	
	02 往診	
	03 訪問歯科診療	
	04 訪問看護	
	05 訪問薬剤管理指導	
	06 訪問栄養管理指導	
	07 訪問リハビリテーション	
	08 看取り対応	
	09 緊急時の患者の入院受入れ	
	10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
在宅医療の連携	01 診療所、病院と他機関との連携	
	02 歯科診療所と他機関との連携	
	03 薬局と他機関との連携	
	04 訪問看護ステーションと他機関との連携	
	05 介護関係者と他機関との連携	
	06 行政と他機関との連携	
	07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Ⅲ. 4 終末期・看取りの対応

Q19 貴院によるアドバンス・ケア・プランニング（終末期における意思決定支援。愛称：人生会議）（以下「ACP」という。）の取組状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 ACPを知らない、若しくは具体的な内容がわからないため取り組んでいない 02 必要性を感じないため取り組んでいない 03 ニーズがないため取り組んでいない 04 対応可能な人員（組織）体制がないため取り組んでいない 05 可能な範囲で取り組んでいる 06 自院の方針として積極的に取り組んでいる 07 ACPについて書面に起こしている 08 その他		
選択肢	具体的な取組内容（自由回答）	
05		
06		
08		

Q20 貴院と地域とのACPに関する連携状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 必要性を感じないため連携していない 02 ニーズがないため連携していない 03 可能な範囲で連携している 04 専門の職員を配置し連携している 05 医療・ケアチームとして連携している 06 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q21 貴院と地域とのACPに関する連携について、課題と思われるものに○をつけてください。（複数選択可）

選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄
01 ACPに関する知識・技術の習熟		
02 情報共有のツール		
03 関係者間の連絡調整		
04 緊急時の取り決め		
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q22 貴院による終末期の患者への訪問対応について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 積極的に行っている 02 可能な範囲で行っている 03 現在行っていないが、今後は対応を検討したい 04 現在行っておらず、今後も対応は難しい		

Ⅲ. 5 在宅医療現場での労働災害について

Q23 在宅医療現場における職員への被害について、貴院の職員が経験されたものについて○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 腰痛などの身体損傷	
02 訪問時の交通事故	
03 在宅医療現場での針刺し事故等の血液・体液暴露	
04 在宅医療現場での感染症暴露	
05 室内犬にかまれるなどの動物被害	
06 在宅医療現場での、ハラスメント、暴言・軟禁・暴力行為等 具体的に（ <input type="text"/> ）	
07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
08 特になし	

Q24 在宅医療現場における職員の危険防止について、貴院で取り組んでいるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 人力で抱え上げない・持ち上げないケアなどの身体損傷の防止の取組	
02 リキャップ防止などの血液・体液暴露の防止の取組	
03 スタンダードプリコーションの実施などの感染症暴露の防止の取組	
04 各種労働災害に対応した危険防止マニュアルの作成	
05 労働災害発生時の相談体制（内部・外部）の構築	
06 危険防止に関する研修会への参加又は研修会の実施	
07 ハラスメント、暴力等に対応する職員の配置	
08 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
09 特になし	

Q25 在宅医療現場における職員の危険防止について、千葉県で行うことが望ましいと考えるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 在宅医療現場における職員の危険防止に関する研修会	
02 在宅医療現場における職員の危険防止マニュアル等のひな型の提示	
03 人力で抱え上げない・持ち上げないケアの普及	
04 血液・体液暴露事故が生じたときに初期検査・初期治療をしてくれる病院の確保	
05 ハラスメントに対応した相談窓口の設置	
06 自院で実施するハラスメント対策や暴力等に対する防止策への助成	
07 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

IV. 多職種連携

IV. 1 多職種連携におけるDXの推進状況について

Q26 患者の病歴や日々の訪問記録（手書きや電子データ等）等の各種情報を、院外の関係者と共有していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 はい【⇒Q27へ】	02 いいえ【⇒Q28へ】	

Q27 《Q26で「01 はい」を選択された歯科診療所にお伺いします。》

訪問記録・情報を誰と共有していますか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄
01 病院		
02 診療所		
03 他の歯科診療所		
04 調剤薬局		
05 訪問看護ステーション		
06 居宅介護支援事業所		
07 介護施設（入所施設）		
08 その他在宅介護サービス事業者		
09 患者・家族		
10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q28 院外の関係者との情報共有にあたり、情報通信技術（ICT）を活用していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 はい【⇒Q29へ】	02 いいえ【⇒Q30へ】	03 活用を検討している【⇒Q31へ】

Q29 《Q28で「01 はい」を選択された診療所にお伺いします。》

院外の関係者との情報共有に利用されている情報通信技術（ICT）についてご回答ください。

	選択肢	回答欄
利用頻度（閲覧・登録の頻度） （1つを選択）	01 頻繁に利用している 02 ときどき利用している 03 ほとんど利用していない	
利用しているシステムの種類 （1つを選択）	01 1種類のみ 02 複数のシステムを、目的によって使い分けている 03 同じ目的でも患者や連携先施設によってシステムが異なる	
システムの名称	（ <input type="text"/> ）	
利用目的 （全てに○）	01 医療機関の診療記録等（カルテや検査結果等）の共有 02 関係者間の連絡（伝言や写真の共有等） 03 患者のバイタル管理 04 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
導入のきっかけ （複数回答可）	01 地域（市町村や多職種会議等）で導入を決定したため 02 自院で必要性を判断し、連携先に依頼して導入した 03 主治医からの依頼で導入した 04 他施設（主治医除く）からの依頼で導入した 05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Q30 《Q28で「02 いいえ」を選択された事業所にお伺いします。》情報通信技術（ICT）を活用しない理由は何ですか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 システム導入方法がわからない	
02 システムの活用方法がわからない	
03 システム導入の予算がない	
04 紙のほうが管理しやすい	
05 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

IV. 2 他機関・多職種連携の状況

Q31 退院患者に対して在宅医療を提供するに当たり、貴院は退院時カンファレンスへ参加していますか。

選択肢（該当するもの1つを選択）		回答欄
01 参加するケースが多い	02 ケースによって参加している	
03 参加していない	04 退院時カンファレンスの開催を把握していない	

Q32 地域の多職種との連携の促進に向け、充実が必要な取組について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）		回答欄
01 連携窓口の一覧の作成		
02 入退院支援のルール作り		
03 入退院時のカンファレンスの実施		
04 個別のケース会議の実施		
05 ICTを活用した患者情報の共有		
06 地域の多職種による研修の実施		
07 連携のための地域リーダーの育成		
08 緊急時の入院受入体制の構築		
09 病院勤務医の理解と協力の促進		
10 在宅医療に関する各機関の認識の共有や理解の促進		
11 財政支援によるインセンティブの付与		
12 D to P with N（患者が看護師等といる場合のオンライン診療）の活用		
13 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

Q33 多職種連携の促進に向けて、貴院が現在、連携を図っている院外の職種について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）		回答欄
01 医師（病院）		
02 医師（診療所）		
03 歯科医師		
04 看護職員（病院）		
05 看護職員（診療所）		
06 看護職員（訪問看護ステーション等）		
07 薬剤師		
08 管理栄養士・栄養士		
09 歯科衛生士		
10 リハビリ専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）		
11 医療ソーシャルワーカー（MSW）		
12 ケアマネジャー		
13 介護施設（入所施設）の職員		
14 地域包括支援センターの職員		
15 在宅医療・介護連携支援センターの職員		
16 在宅医療支援拠点の職員		
17 その他在宅介護サービス事業所の職員		
18 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）		

V. 災害時の対応

Q34 在宅医療を提供している患者が避難所（福祉避難所）に避難した場合、避難先における医療の提供について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 避難先に訪問し、医療の提供が可能	
02 避難先が自院から近い場合、訪問して医療の提供が可能	
03 電話やオンラインにより、医療の提供が可能	
04 対応できない	

Q35 業務継続計画（BCP）の策定状況について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。

選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 策定済み【⇒Q37へ】	
02 今後策定する予定【⇒Q37へ】 具体的な時期（ <input type="text"/> ）	
03 策定していない【⇒Q36へ】	

Q36 《Q35で「03 策定していない」を選択された診療所にお伺いします。》

業務継続計画（BCP）を策定していない理由は何ですか。該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）

選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 業務継続計画（BCP）の策定方法がわからない	
02 他の関係機関と共同しないと策定できない	
03 策定する必要性を感じない	
04 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

Q37 在宅医療を提供する患者に対する災害時の医療に係る備えとして、今後必要とされる対応について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）	回答欄
01 緊急避難先となる医療機関・入所施設の確保	
02 緊急避難先となる医療機関・入所施設への発電機の設置	
03 緊急避難先となる医療機関・入所施設の業務継続の確保	
04 患者・家族に貸出可能な非常用電源の準備	
05 患者・家族による非常用電源の確保	
06 患者宅への水・食糧支援	
07 市町村が作成する避難行動要支援者名簿への掲載	
08 患者の個別避難計画の策定	
09 在宅医療に特化した相談窓口の設置	
10 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	

VI. 課題・今後の方針について

Q38 今後の在宅医療への貴院の取組方針について、該当する選択肢の番号1つを選択してください。	
選択肢（該当するもの1つを選択）	回答欄
01 拡充を検討している【⇒Q39・41へ】 02 現状を維持する【⇒Q41へ】 03 縮小を検討している【⇒Q39へ】 04 在宅歯科診療の提供をやめる予定【⇒Q40へ】	
Q39 《Q38で「01 拡充を検討している」、「03 縮小を検討している」を選択された診療所にお伺いします。》拡充（縮小）の具体的方法について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）	
選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 歯科医師の増（減）員	
02 歯科衛生士の増（減）員	
03 その他職員の増（減）員 具体的に（ ）	
04 対応エリアの拡大（縮小）	
05 提供する歯科医療の拡充（縮小） 具体的に（ ）	
06 その他 具体的に（ ）	
Q40 《Q38で「03 縮小を検討している」もしくは「04 在宅医歯科診療の提供をやめる予定」を選択された歯科診療所にお伺いします。》理由について、該当する選択肢の番号に○をつけてください。（複数回答可）	
選択肢（該当するもの全てに○）	回答欄
01 歯科医師の不足によるため	
02 歯科医師の高齢化のため	
03 歯科衛生士の不足によるため	
04 外来患者増により外来診療の負担が増加しているため	
05 訪問看護事業所の閉鎖等により地域の協力体制が維持できなくなったため	
06 機材の不足、老朽化によるため	
07 採算が取れないため	
08 その他	
その他の具体的な内容、上記回答の補足等（自由記載）	

Q41 在宅医療を提供する上での課題について、該当する選択肢の番号3つまでに○をつけてください。

選択肢（該当するもの3つまでに○）	回答欄
01 継承者の確保	
02 歯科医師の高齢化による廃業	
03 人口減少や競合医療機関増多による減収での廃業	
04 在宅医療に従事する歯科医師の確保	
05 在宅医療に従事する歯科衛生士の確保	
06 在宅医療に従事する職員（歯科医師・歯科衛生士を除く）の確保	
07 長距離訪問時の助成	
08 家族の介護力	
09 患者の経済的負担の軽減	
10 在宅医療に関する取組・研修機会の確保	
11 緊急時の受け入れ態勢の整備	
12 ターミナルケアや看取りケアまで対応できる環境の整備	
13 在宅医療現場における職員の危険防止対策の充実	
14 多職種連携のための環境の整備	
15 在宅医療を提供する医療機関間の連携体制の構築	
16 介護分野の事業所との情報共有	
17 災害時の継続的な医療の提供	
18 災害後早期の通常医療体制への復旧	
19 災害後早期の患者の通常生活への復帰	
20 在宅介護サービスの充実	
21 在宅医療に関する歯科診療所の認識や理解	
22 在宅医療に関する県の取組情報の見える化	
23 在宅医療に関する診療報酬の引き上げ	
24 地域住民へ医療機能分化や在宅医療への理解を促進するための情報提供	
25 その他 具体的に（ <input type="text"/> ）	
26 特になし	

在宅医療に関するご意見等ございましたら以下にご記入ください。

設問はここで終了です。ご協力ありがとうございました。